



めざす子ども像… 豊かな心で互いの違いや多様性を認め合える子ども
自分の考えや良さを言える子ども
自分自身でしっかり考えて行動できる子ども



今にふさわしいあいさつ



新型コロナウイルスの感染防止対策が求められるようになって早、1年半あまり。様々な制約がある中での教育活動が続いていますが、この間において、子どもたちへの指導の内容が大きく変わったもののひとつにあいさつがあります。「おっはよーございまーす！」地域に響き渡るような元気いっぱいのあいさつも子どもならではのよさであったはずなのですが…飛沫感染のリスク低減が求められるようになってからは、そんな姿はすっかり見られなくなってしまいました。「もうちょっと小さな声でいいよ」と声を掛けなければいけない今の状況を、寂しく感じることもしばしばあります。

コロナ禍の今にふさわしいあいさつとは、いったいどんなあいさつなのだろう？こんな状況であっても、相手に心を伝えられるあいさつとは？私たち教職員もこれまで何度も議論してきました。「小さな声でもはっきり言うこと」「自分から先にすること」「相手の顔を見てすること」これまでいろいろなことがポイントとして挙がってきましたが、今、改めて思う一番のあいさつ、今の状況に一番ふさわしいあいさつとは…何より笑顔ですることではないでしょうか。

顔の筋肉の進化により豊かな表情をつくることができるようになった、私たち人類。コロナ禍の今だからこそ、この特長を生かして、人と人とのつながりを、大切な絆を深めていきたいものです。今こそ、言葉を超えて伝わっていくものの力を信じたいと思います。

10月の目標「いじめは絶対許しません」 (『あたりまえ10箇条』・第8条)

「児童等は、いじめを行ってはならない」いじめ防止対策推進法の第一章・第四条に明記してある通り、いじめは法律に違反する行為と言えます。でも、法による規制以上に大切なのは…やはり、人を思いやるあたたかい心を育てていくことではないでしょうか。いじめだと気づく賢さ、いじめを思いとどまる強さ、いじめを止めさせる勇気を、大内小学校の全ての子どもに身につけてほしいと思います。



秋の訪れとともに…



○10月より帰宅時刻が夕方5時になります。

朝夕の涼しさを感じ始めるとともに、日没時刻が日々早まっていることに気づかされる時季となりました。「まだ大丈夫」と思って遊んでいるうちに、あっという間に辺りが薄暗くなり、大慌てで家に帰った…という経験がある子ども多いのではないかと思います。不審者から身を守るため、また夕暮れ時の事故を防ぐのために、早めの帰宅を心がけるよう、お子様に声をお掛けください。

○10月は、ベストを着用して登校してもよい月となっています。

暑さ、寒さの感じ方は人によって違いがあるため、本校では、標準服の上着の着用を始める基準日等は特に設けていませんが、子どもたちには次のように指導しています。

- ①寒いと感じるようになってきたら、標準服の上着を着てもよい。
- ②10月については、標準服の上着では暑すぎると感じれば、ベストを着て登校してもよい。
- ③標準服の上着を着てもまだ寒いと感じたら、その下にベストやセーターを着てもよい。

朝の気温や天気予報・体調等を考えながら、その日にあった服装を選ぶことも、大切な学びの機会です。4月に配付いたしました『学校生活を楽しく過ごすために』もご覧いただきながら、お子様へのアドバイスをお願いいたします。